

# ビオトープフォーラム in 東京2013

## 協会設立20周年記念フォーラム

— 人と自然が共生するまちづくり —

### 実施報告書

日時：2013（平成25）年5月31日（金） 13:00～16:45

場所：東京農業大学校友会館 グリーンアカデミーホール（東京都世田谷区）

主催：特定非営利活動法人日本ビオトープ協会

後援：環境省 文部科学省 農林水産省 国土交通省 東京農業大学 環境新聞社（順不同）

#### ◇フォーラム参加者 合計 86名

|        |     |          |     |           |    |
|--------|-----|----------|-----|-----------|----|
| 官庁関係   | 1名  | 環境団体関係   | 4名  | 一般        | 6名 |
| マスコミ関係 | 1名  | 学生・学校関係者 | 35名 | 造園団体・造園業者 | 7名 |
| 協会員    | 32名 |          |     |           |    |

#### ◇総括

『ビオトープフォーラム in 東京 2013』は、地元東京をはじめ全国から参加をいただき、人と自然が共生するまちづくりをテーマに盛大に開催することができました。関係官庁の後援と講師の先生、協会員の方々をはじめ、多大なご協力をいただきました開催会場の東京農業大学に対して感謝の意を表します。また、ご多用中にも関わらず、環境省 自然環境局自然環境計画課 里地里山保全専門官 島田憲次様、また代表顧問としてご指導いただいた故杉山恵一先生のご令室美智子様にご臨席を賜りご祝辞を頂戴いたしました。

#### 環境省自然環境局 島田憲次様 祝辞（要旨）

環境省自然環境局で里地里山保全を担当しております島田でございます。本日は日本ビオトープ協会設立20周年、法人化10周年まずはお祝い申し上げます。設立されて以来今日まで、ビオトープの創出推進に向け構想立案から調査設計施工、環境管理等まであらゆる場面において自然環境の保全や復元のためにご尽力いただき、関係の方々のご苦労に対し心から敬意を表します。昨年の9月に閣議決定されました生物多様性国家戦略2012におきまして、COP10で採択されました愛知目標の達成に向けたロードマップが示されました。これには自然再生への取組の基本的な考え方も示されており、自然再生とは過去に損なわれた生態系やその他自然環境を取り戻すことを目的として、関係行政機関・地方自治体、地域の住民やNPO法人、その他自然環境に関する専門的知見者等、地域の多様な主体が参加して河川・湿原・干潟・藻場・里地里山や森林、その他の自然環境保全、再生し、もしくは創出し、管理することであるとしています。

生物多様性国家戦略の中で、あげられております取組につきましては、まさにこの日本ビオトープ協会がこれまで実施されてこられました活動そのものであると思っております。

我々環境省としましては、自然の再生については関係する省庁との連携の下、取り組みを強化し、自然再生への推進に積極的に取り組んでいる所でございますが、自然再生の推進的な実施団体である日本ビオトープ協会に非常に期待しているところでございます。最後になりましたが、今後益々発展されることを祈念してお祝いに代えさせていただきます。

フォーラムでは、協会活動にご尽力いただいた、故杉山恵一先生、故竹信正敏理事、故秋山恵二郎氏（初代会長）へ黙祷を捧げました。はじめに協会会長櫻井淳より開会の挨拶として、協会設立20周年を迎えたことへまた今年度東京で開催する事にした意義と開催に至る関係者への謝意が述べられました。

第1部では、ビオトープ顕彰委員会委員長、横浜国立大学学長・鈴木邦雄氏の講評と、『第5回ビオトープ顕彰』表彰式が行われ、本年度ビオトープ大賞の株式会社豊田自動織機様はじめ各受賞者に櫻井会長から表彰状が手渡されました。引き続き事例発表が行われ、2件の事例が紹介されました。（フォーラム資料集掲載）

第2部は愛知県前副知事、現学校法人名古屋学院大学理事長、稲垣隆司先生に「人と自然が共生するあいち」と題して特別講演をいただきました。今後私達も愛知目標達成と言う大きな目標に向けて、各地での活動を益々発展させて行く決意を新たにいたしました。続いて稲垣隆司先生、横浜国立大学学長・協会代表顧問鈴木邦雄先生、東京農業大学教授牧恒雄先生、同じく農大教授濱野周泰先生にご登壇頂き、コーディネーターは会長櫻井にてパネルディスカッションを開催いたしました。どちらも参加者に大きな刺激を与える講演となりました。



閉会の辞は、協会副会長鈴木元弘よりフォーラム参加者と関係者への謝意が述べられ閉会しました。

このフォーラムを通じて、地球環境の改善・生物多様性社会・いのちを知る環境教育等の重要性を再認識し、当協会の役割と責務の大きさを実感いたしました。今後も自然との共生をめざした活動を推進し、持続可能な地域づくりに貢献して参ります。

最後に、皆様のご協力に対し心より厚くお礼申し上げます、今後ともご指導・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

2013年6月吉日

— 別紙レジュメ資料集の通り、盛会にて終了いたしました —

～フォーラムの様子～



祝辞 環境省・島田憲次様



杉山美智子様



司会  
砂押一成理事



開会挨拶  
櫻井淳会長



閉会挨拶  
鈴木元弘副会長

◇第1部 ビオトープ顕彰受賞作品の表彰、顕彰事例発表



技術特別賞 『調整池排水路の近自然化・河川ビオトープ』



審査委員長賞 『小岩井農場  
まきば園ビオトープ』



講評 顕彰委員会委員  
長・鈴木邦雄先生



学校ビオトープ大賞  
『大井町自然再生観察園』



ビオトープ大賞 『大府駅東ビオトープ』



加え、技術特別賞 『調整池排水路の  
近自然化・河川ビオトープ』

事例発表



◇第2部 特別講演、パネルディスカッション



特別講演  
稲垣隆司先生



櫻井会長

稲垣先生・鈴木先生・牧先生・濱野先生

